

(参考様式5)

元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
栃木県	茂木町	茂木地区	H17～21	H18～21
		茂木地区		H18
		茂木地区		H18
		茂木地区		H18
		深沢上地区		H18～21
		逆川地区		H19
		青梅地区		H19
		青梅地区		H19
		茂木地区		H19
		深沢下地区		H19～21
		茂木地区		H17～19
		茂木地区		H17

1 施策ごとの評価

(1) ソフト

①茂木地区[地域連携システム整備]

- ア 施策の内容： ・交流受入態勢の充実・強化を図ると共に、情報発信を積極的に行う。
・地域に訪れる都市住民をターゲットとした直売施設を開設した。

イ 施策の実績

交流人口の増加に向けた取り組みとして、農村レストランと体験のできるそばの里まぎのと虹色の里あじ彩のパンフレット 10,000 部を作成し、町の情報発信基地である道の駅もてぎを中心に配布し、より多くのグリーンツーリズム入込客数を確保することができた。

また、これまで各団体で活動していたむらづくり団体を組織的に結びつけ、団体間の情報交換や活動連携の場として、茂木町都市農村交流協議会を組織した。

協議会では、町のむらづくり団体を PR するマップを作成し配布した他、それまで団体ごとに行って収穫祭をむらづくり活動 PR と関連付けてより多くの方に PR するため、道の駅もてぎを会場に協議会として全部の団体が集まって年に1回の都市農村交流祭を開催するようになった。

また、むらづくりの機運が盛り上がっていた深沢地区をはじめとする逆川地区や他のむらづくりに取り組もうとする地域が道の駅もてぎのイベント広場等で行う PR 活動等に活用できるようにと整備したテントにより、逆川地区の直売所「むらの市場」や深沢パパスの丘による体験農園の取り組みが地域の活性化と多くの都市住民を呼び込み、平成19年度には地域内に交流施設を建設するに至った。

ウ 施策の効果

- ・町の情報発信の中心であり、年間 100 万人以上の入込客数を誇る道の駅もてぎを中心にパンフレット配布や都市農村交流祭によるむらづくりの活動や農村レストラン「そばの里まぎの」と「虹色の里あじ彩」の PR により、グリーンツーリズム入込客数が増加した。
- ・イベント用のテントの整備による逆川地区を中心とした模擬直売所の取り組みや深沢地区における体験農園の試験開設によるマーケティング調査によりこれまでむらづくり活動の中では途上地域であった逆川地区において、入込客数が増加と地域の意識改革がなされ、交流施設「いい里さかがわ館」が開設され、都市農村交流の拠点となっているのはもちろんのこと、地域農業の活性化や高齢者・女性生きがいの場、地域雇用の場となっている。
- ・それまでが各々で活動していたむらづくり団体が茂木町都市農村交流協議会を設立したことで、情報交換や意見交換の場となるのはもちろんのこと、受け入れ体制と情報発信の取り組みの強化が図られ、「都市農村交流祭」による大々的な茂木町のグリーンツーリズムの PR 活動が行われている。

②茂木地区[遊休農地再生活動実践スタート支援]

ア 施策の内容： ・地区内の遊休農地の実態把握
 ・展示圃場及びモデル圃場の設置

イ 施策の実績

- ・町内全域の遊休農地の実態調査を行いマップを作成した。
- ・展示圃場及びモデル圃場の設置をした。

ウ 施策の効果

- ・町内全域の遊休農地を把握することが出来た。
- ・遊休地を利用した展示圃場及びモデル圃場を設置し新規作物を振興することが出来た。

(2) ハード

①茂木地区[総合鳥獣被害防止施設]

ア 施策の内容： ・イノシシ被害防止電気柵の設置による農作物被害の軽減

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
中山間地域等の振興	里地棚田・自然景観等の保全推進	総合鳥獣被害防止施設	茂木町中山間地域等直接支払制度推進協議会	同左
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
イノシシ被害防止電気柵243km	平成18年度	平成21年度	各年度	

事項	単位	計画時 (○年度)	目標値 (○年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績 …… 該当なし

ウ 施策の効果

<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ被害防止電気柵を設置したことにより、農作物被害を軽減することが出来た。 ・農作物被害を防ぐことにより、耕作放棄地の増加を未然に防ぐことが出来た。
--

②茂木地区[地域提案メニュー]

ア 施策の内容： ・コンニャクの集出荷システム整備による強い産地づくり

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
地域提案メニュー	コンニャク 集出荷体制整備	コンニャク出荷用 メッシュ金網 コンテナ	はが野農業 協同組合	はが野農業 協同組合
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
メッシュ金網コンテナ 100基、吊金具2台、 吊秤2台	平成18年度	平成18年度	平成19年4月1日	

事項	単位	計画時 (○年度)	目標値 (○年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績 …… 該当なし

ウ 施策の効果

<ul style="list-style-type: none"> ・コンニャク出荷用メッシュ金網コンテナを導入したことにより、労力の削減や生産拡大により耕作放棄地を減少させることが出来た。 ・集荷業者からの要望に応えられる産地となった。
--

③茂木地区[地域提案メニュー]

ア 施策の内容： ・和牛放牧による遊休農地の解消

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
地域提案メニュー	遊休農地への和牛の放牧による解消、イノシシによる獣害防止	和牛放牧設備	茂木町	茂木町
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
和牛放牧設備	平成18年度	平成18年度	平成19年4月1日	

事項	単位	計画時 (○年度)	目標値 (○年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績 … 該当なし

ウ 施策の効果

<ul style="list-style-type: none"> ・和牛放牧施設を導入することにより、遊休農地を解消することが出来た。 ・イノシシ等有害鳥獣の農作物被害を軽減することが出来た。
--

④ 茂木地区[やすらぎ空間整備]

ア 施策の内容： ・地域未使用資源の廃屋の活用による都市農村交流人口の増加

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
グリーン・ツーリズム、都市農業の振興	やすらぎ空間整備事業	廃屋改修交流施設	竹原地区郷づくり協議会	竹原地区郷づくり協議会
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
交流拠点1棟整備 お休み処「竹の家」	平成18年度	平成18年度	平成19年4月1日	

事項	単位	計画時 (16年度)	目標値 (20年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績

施設等名(お休み処「竹の家」)

年次	室名	事項	計画	利用実績	利用率
平成20年度	お休み処「竹の家」	入込客数	300人	2,820人	940%

ウ 施策の効果

- ・廃屋改修による受入体制を強化したことより、地域への入れ込み客数が増加した。
- ・施設の地域農産物等の販売による地域農業の振興が図られた。

⑤深沢上地区

ア 施策の内容:農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	地形図作成 農用地等集団化(経営体育成 促進換地等調整事業)	茂木町 栃木県土地改良 事業団体連合会	茂木町
事業量		事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
地形図作成	20ha	平成18年度	平成18年度	
農用地集団化	30ha	平成18年度	平成21年度	

(イ) 施設等の利用実績 … 該当なし

ウ 施策の効果

地形図作成：地区の調査、計画、換地作業等の基本となる地形図作成により、事業計画書が策定され事業着手となった。

農用地等集団化：換地計画書が策定され事業着手となった。

⑥逆川地区[農林水産物直売・食材供給施設]

ア 施策の内容：・直売所機能をもった交流拠点の整備による地域の振興
・そばを活用した農村レストラン整備による地域イメージアップ並びに地域雇用の確保と拡充

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
中山間地域等の振興	農林漁業の振興	農業生産 施設整備 (農林水産物直 売・食材供給 施設)	茂木町	さかがわ協議会
事業量		事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
交流拠点1棟整備 「いい里さかがわ館」 (491.26㎡)		平成19年度	平成19年度	平成20年4月23日

事項	単位	計画時 (18年度)	目標値 (20年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績

施設等名(いい里さかがわ館)

年次	室名	事項	計画	利用実績	利用率
平成20年度	野菜直売所、手作り惣菜、アイスコナー	特産物販売所にて 購買者数	88千人	90千人	102%
		延べ利用日数	300日	297日	99%
	そばレストラン	食堂にて購買者数	12千人	23千人	192%
		延べ利用日数	300日	297日	99%

ウ 施策の効果

<ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点「いい里さかがわ館」を整備することにより、新たな地域の情報発信の場となった。 ・農村レストランや直売所等で農産物を販売することにより、地域農業の振興が図られた。 ・新たな雇用の創出により、地域の高齢者、女性の活躍の場が出来た。
--

⑦青梅地区[林業生産施設整備]

ア 施策の内容: ・新たな地域特産品であるマイタケ等の栽培施設整備による地域産業の振興

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
中山間地域等の振興	農林漁業の振興	林業生産施設整備 (特用林産物生産施設)	茂木町	青梅協議会
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
マイタケ等特用林産物栽培施設1棟(68㎡)	平成19年度	平成19年度	平成20年4月1日	

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (20年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績

施設等名(マイタケ等特用林産物栽培施設)

年次	室名	事項	計画	実績	利用率
平成20年度	マイタケ等特用林産物栽培施設	ほだ木の生産	2,000本	2,000本	100%

ウ 施策の効果

・マイタケ栽培施設を整備することにより、新たな地域特産物として振興が図られた。

⑧青梅地区[地域資源活用起業化施設]

ア 施策の内容: ・そばを活用した農村レストラン整備による地域イメージアップ並びに地域雇用の確保と拡充

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
中山間地域等の振興	就業所得機会の創出	地域資源活用起業化施設	茂木町	青梅協議会
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
農村レストラン1棟整備 「そば処青梅」 (104.75㎡)	平成19年度	平成19年度	平成20年4月1日	

事 項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績

施設等名(そば処青梅)

年次	室名	事項	計画	利用実績	利用率
平成21年度	そば処青梅	利用人数	13,000人	13,964人	107%
		利用日数	300日	312日	104%

ウ 施策の効果

- ・農村レストラン「そば処青梅」を整備することにより、本町の特産品である「そば」を活用し、振興することが出来た。
- ・新たな雇用が創出され、地域の高齢者、女性の活躍の場が出来た。

⑨茂木地区[山村振興等地域再生の連携推進]

ア 施策の内容： ・シンポジウム等の開催による中山間地域の情報発信

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
中山間地域等の振興	山村振興等地域再生の連携推進	シンポジウム等の開催	茂木町	—
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
シンポジウム等の開催	平成19年度	平成19年度	—	

事 項	単位	計画時 (○年度)	目標値 (○年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率 (%)	

(イ) 施設等の利用実績 ……該当なし

ウ 施策の効果

・中山間地域の振興に向けた調査研究、需要動向調査、研修、シンポジウムの開催により中山間地域の振興を推進するとともに、地域資源の大切さを多くの人々に発信することが出来た。

⑩深沢下地区

ア 施策の内容： 農業生産基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア) 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
生産基盤整備	基盤整備促進	農用地等集団化 (経営体育成促進 換地等調整)	栃木県土地改良 事業団体連合会	茂木町
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
農用地等集団化 15ha	平成19年度	平成21年度		

(イ) 施設等の利用実績 …… 該当なし

ウ 施策の効果

深沢下地区土地改良事業の計画が策定され、中山間地域総合整備事業の着手の準備が整った。

2 指標の達成状況に関する評価

(1) グリーンツーリズム

	成果指標 (単位)※	基準値 (16年度)	目標値 (20年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (20年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%、下2桁 (B/A))
必須	都市農山漁村地域 における滞在者数 (宿泊者数を除く) (%)	1,500 人	1,800 人	20.00% (300 人)	2,500 人	66.67% (1,000人)	333.35%
地域	農村レストランの販 売額を3%増加さ せる(円)	25,000 千円	25,750 千円	750 千円	30,733 千円	5,733 千円	764.40%
	直売所、体験施設 における地域産物 の販売	0 円	1,500 千円	1,500 千円	2,000 千円	2,000 千円	133.33%

(2) 遊休農地対策

	成果指標 (単位)※	基準値 (16年度)	目標値 (19年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (20年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%、下2桁 (B/A)
必須	遊休農地の解消等 の面積(ha)	0 ha	514 ha	514 ha	514 ha	514 ha	100.00%
地域							

(3) 中山間地域等の振興、農業生産基盤の整備と自然環境(景観)の調和

	成果指標 (単位)※	基準値	目標値	目標増減 (増減率等) (A)	実績値	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%、下2桁 (B/A)
必須	事業実施地区内における耕作放棄発生の防止(%)	(17年度) 514 ha	(21年度) 496 ha	△3.50% (△18 ha)	(21年度) 443 ha	△13.81% (△71 ha)	394.57%
	基盤整備事業の着手までの年数(深沢上地区)(年)	(20年度) —	(21年度) 1年	1年	(21年度) 0年	0年	0.00%
	基盤整備事業の着手までの年数(深沢下地区)(年)	(20年度) —	(21年度) 1年	1年	(21年度) 0年	0年	0.00%
	地域産物の販売額の増加(逆川地区)(%)	(18年度) —	(20年度) 66,000 千円	66,000 千円	(20年度) 78,942 千円	78,942 千円	119.60%
	地域産物の販売額の28%増加(青梅地区)(%)	(17年度) 7,000 千円	(20年度) 9,000 千円	28.57% (2,000千円)	(20年度) 13,500 千円	92.85% (6,500千円)	325.00%
地域	農村レストランの販売額の増加(青梅地区)(円)	(17年度) 7,536 千円	(21年度) 12,350 千円	4,814 千円	(21年度) 13,500 千円	5,964 千円	123.89%
	農村レストランでの雇用機会の3人増加(青梅地区)(人)	(17年度) 常用雇用 6人 (内地元雇用 6人) 臨時雇用 2人 (内地元雇用 2人) 雇用人数 8人	(21年度) 常用雇用 8人 (内地元雇用 8人) 臨時雇用 3人 (内地元雇用 3人) 雇用人数 11人	常用雇用 2人 (内地元雇用 2人) 臨時雇用 1人 (内地元雇用 1人) 雇用人数 3人	(21年度) 常用雇用 8人 (内地元雇用 8人) 臨時雇用 4人 (内地元雇用 2人) 雇用人数 12人	常用雇用 2人 (内地元雇用 2人) 臨時雇用 2人 (内地元雇用 0人) 雇用人数 4人	133.33%

雇用機会の増加 (逆川地区)(人)	(18年度) 常用雇用 -人 (内地元 雇用 - 人)	(20年度) 常用雇用 12人 (内地元 雇用12 人)	常用雇用 12人 (内地元雇 用12人)	(20年度) 常用雇用 13人 (内地元 雇用13 人)	常用雇用 13人 (内地元雇 用13人)	108.33
農村レストランの販 売額の増加(逆川 地区)	(18年度) 0 千円	(20年度) 9,000 千円	9,000 千円	(20年度) 17,273 千円	17,273 千円	191.92%

3 目標の達成状況に関する評価

深沢上、深沢下地区において、基盤整備事業の着手までの年数が達成されなかった。
これは、事業計画範囲が広範囲にわたり、地元調整が難航したことが原因と思われる。

4 総合評価

計画策定主体である茂木町が毎年の入込客数の動向や農村レストランの売り上げ、オーナー制度のオーナー数等を参考に計画の見直しを行いながら各事業を連携し実施することにより効果的な事業展開ができた。

(都道府県の意見)

基盤整備事業の一部に、目標の未達成があるものの、計画は概ね達成されている。
特に、総合鳥獣被害防止施設や、農林水産物直売・食材供給施設では、中山間地域の農業・農村に大きな成果が現れている。
なお、未達成となった基盤整備事業については、平成23年度に中山間地域総合整備事業での採択が見込まれており、今後、関係者が一体となって事業の推進に努めて行く。